

徳島県(県土整備部)における取り組み

○河川区域での護岸整備をはじめ、流下能力の確保等被害軽減策による水災害対策、海岸保全施設の整備による津波対策を展開

■ 堤防整備・河道拡幅 (福井川水系福井川)



洪水を安全に流下させ  
浸水被害を軽減

■ 河道掘削・樹木伐採 (宍喰川水系宍喰川)



出水時に備え  
流下能力を確保

■ 海岸保全施設の整備 (浦上川水系浅川港)



陸閘の自動化により  
津波発生時等に  
安全・確実な開閉

■ 排水機場の耐水化 (海部川水系善蔵川)



出水時の  
確実な稼働

※令和5年度も引き続き、「**氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**」を実施！

徳島県(県土整備部)における取り組み

- 「逃げ遅れゼロ」を目指し、流域住民の迅速かつ確実な避難行動に繋がるVRなどを活用した普及・啓発活動を実施
- 大規模災害時の被害軽減、早期復旧に繋がる建設企業の「事業継続力」や「防災力」の向上



■ 防災出前講座の実施 (海陽町央喰小学校)

次世代を担う子供たちの防災力の向上

防災出前授業の副読本



■ 防災パネル展の実施 (フジグラン阿南)

土砂災害や水害などから命を守る防災意識の向上



■ VRによる災害模擬体験 (海陽町央喰小学校)

土砂災害に関するリスクや防災情報を実践的に学ぶ

がけ崩れVR動画



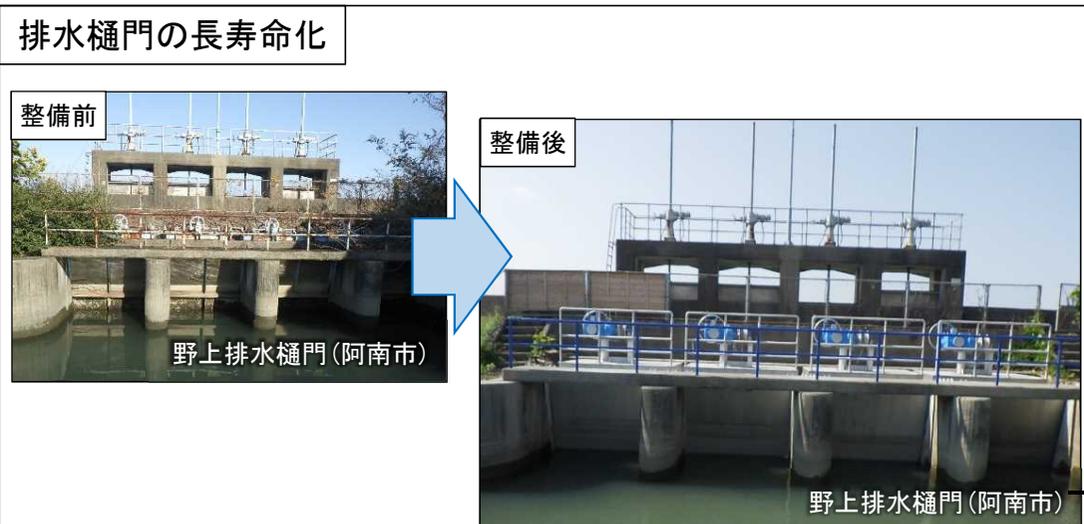
■ 徳島県建設業BCP実行力向上研修の実施 (徳島県建設センター)

策定されたBCPの実行力向上

※令和5年度も引き続き、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」を実施！

## 徳島県(農林水産部)における取り組み

- ほ場整備事業を契機とした水田の雨水貯留機能の向上や排水路整備及び排水樋門の機能保全を順次実施
- 農地保全対策の取組による雨水貯留機能の発揮や水路の排水機能の保全
- 海岸保全施設(漁港海岸)等の適切な維持管理による浸水防護機能の確保



## 徳島県(農林水産部)における取り組み

- 美波町では、造林・下刈り・間伐約25ha、山腹工0.06haを実施。
- 海陽町では、造林・下刈り・間伐約54ha、山腹工0.13ha・本数調整伐約58haを実施。
- 今後も引き続き、間伐や治山対策など「森林の整備・保全」を推進する。

森林の有する多面的機能を高度に発揮



下刈りにより整備された森林:海陽町

治山施設の整備による山腹崩壊地の復旧



山腹工:美波町西山地区

### ■ 森林整備による浸透能の向上効果



手入れ不足の森林



間伐後の森林

植栽、保育、間伐等の森林整備の実施により、森林の有する水源涵養機能(貯留・洪水緩和機能)が向上

### ■ 治山施設の整備による流木・土砂の流出抑制効果



スリットダムが流木を捕捉した事例

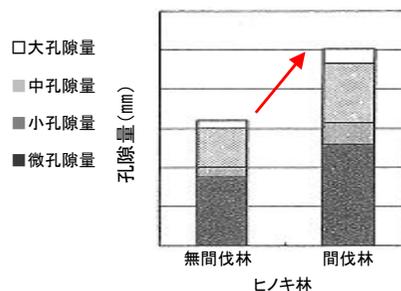


治山ダムが流木を捕捉した事例

流木捕捉式治山ダム(スリットダム)やコンクリート治山ダムの整備により、下流への流木や土砂の流出を抑制

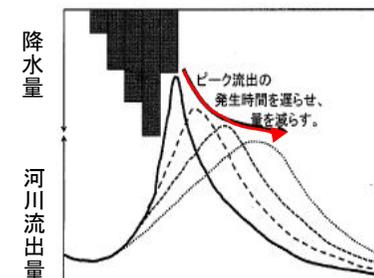
### (参考)森林整備による浸透能の向上効果

間伐の実施で森林土壌の孔隙量が増加



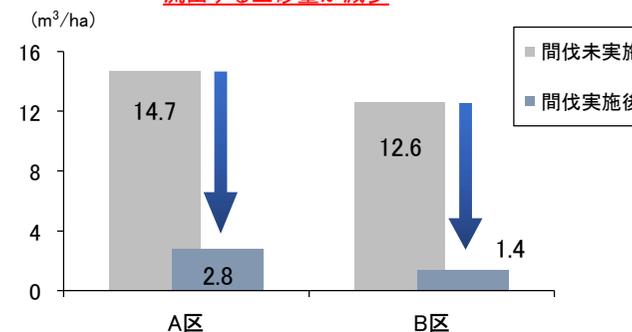
※服部ら「間伐林と無間伐林の保水容量の比較」(2001)

森林土壌によりピーク流出量は減少



※玉井幸治「森林の持つ洪水災害の軽減機能」について」山林第1635号(2020)

流出する土砂量が減少



※恩田裕一編(2008)人工林荒廃と水・土砂流出の実態  
※土砂量:2006年6月～11月の6ヶ月間、総雨量:1,048mm

阿南市における取り組み

- 打樋川下流域における浸水被害の軽減を図るため、戎山排水区で都市下水路(幹線)整備を実施している。  
引き続き、戎山・長浜排水区での都市下水路整備を実施する。
- 既存排水施設の計画的な設備更新による長寿命化対策に加え、耐水化対策による排水機能の保持を図る。
- 多面的機能支払交付金事業を活用し、地元組織による流域の用排水路等の維持修繕、老朽化対策、農地保全を行う。
- 既設の西分排水機場について、適切な運転管理を図る。令和4年度には除塵機施設の長寿命化を行った。

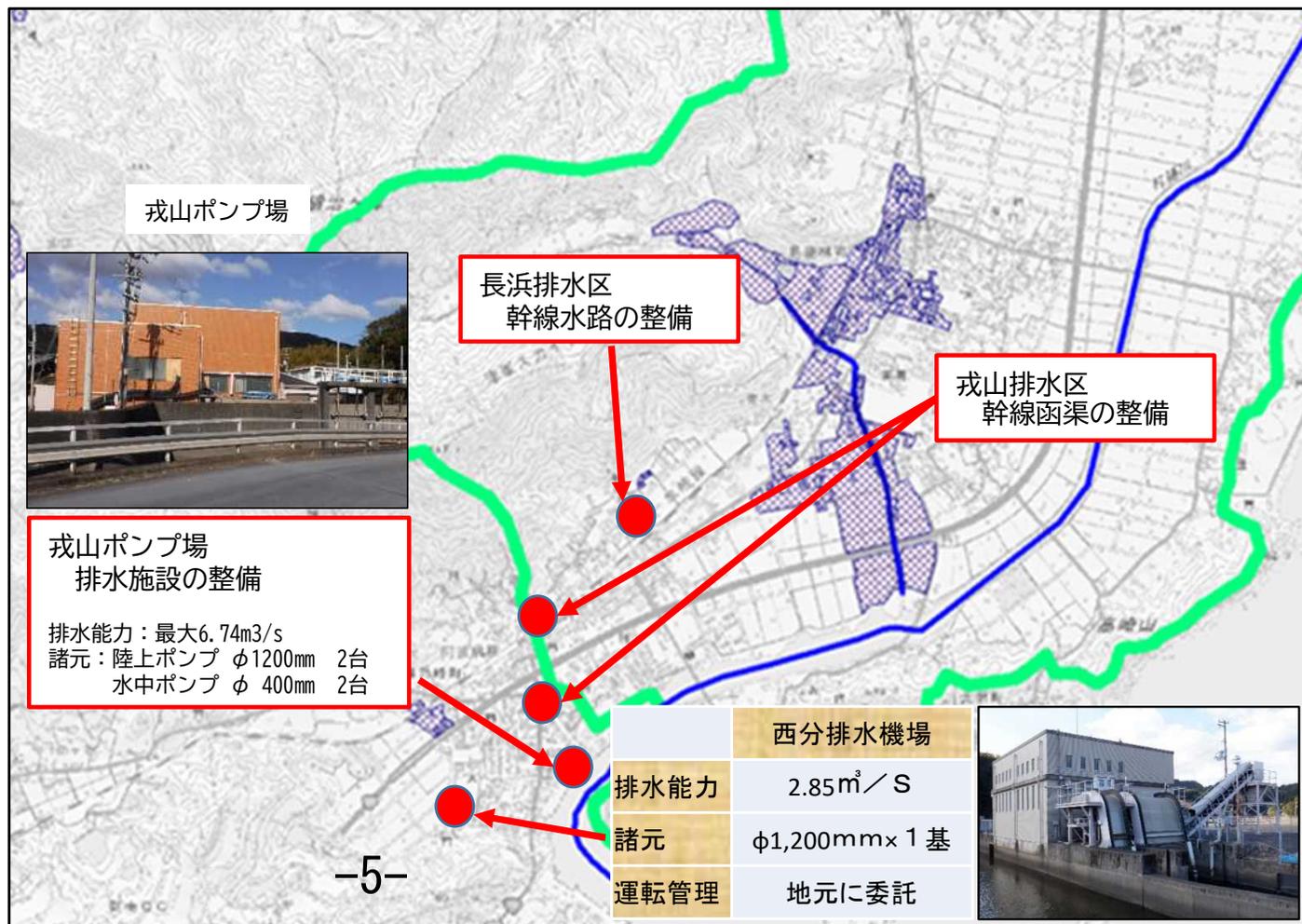
長浜排水区



戎山排水区(R4実施)



戎山排水区(R5予定)



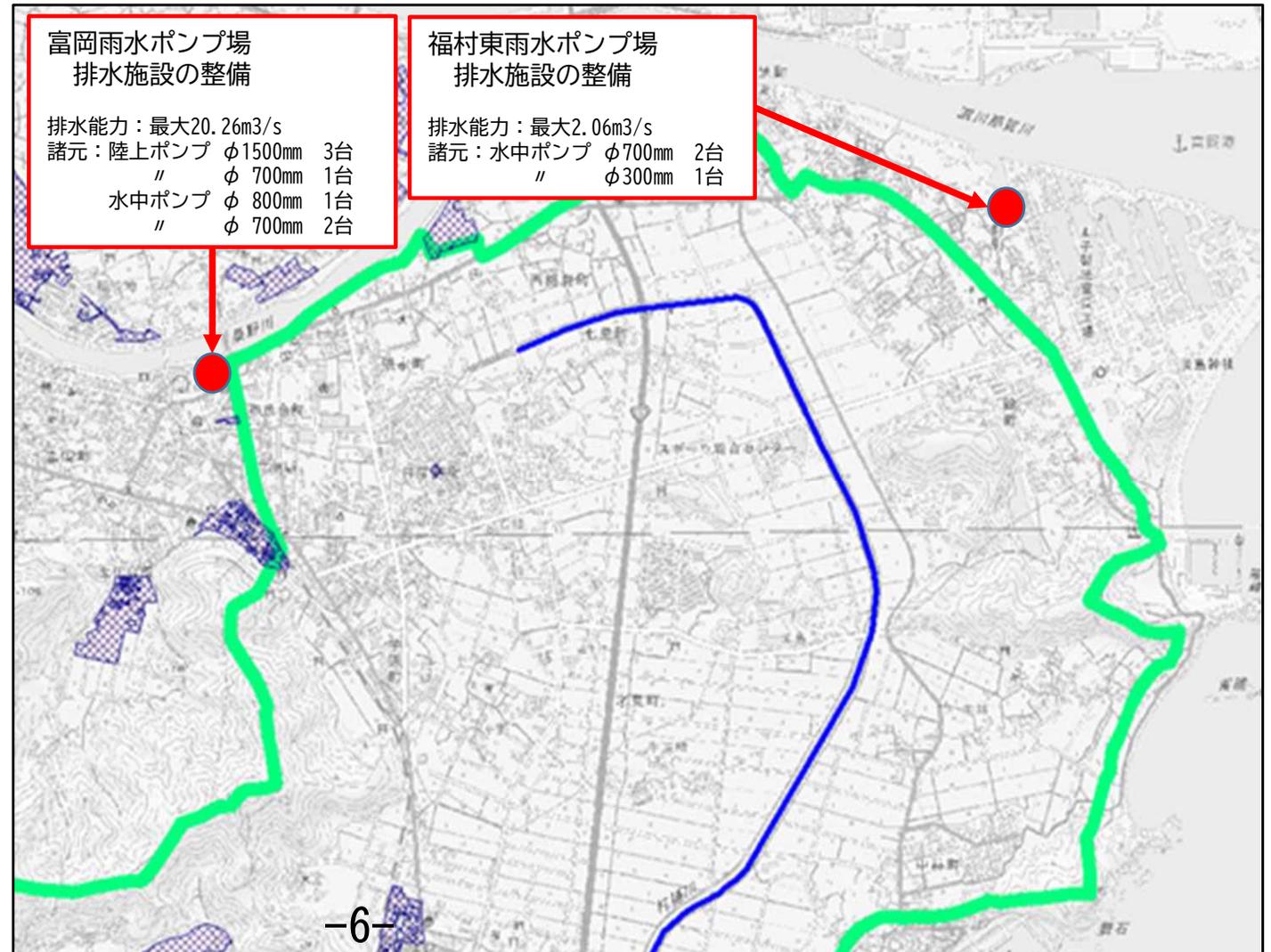
阿南市における取り組み

○既存排水施設の計画的な設備更新による長寿命化対策に加え、耐水化対策による排水機能の保持を図る。

富岡雨水ポンプ場



福村東雨水ポンプ場



## 阿南市における取組

- 多面的機能支払交付金事業を活用し、地元組織による流域の用排水路等の維持修繕、老朽化対策、農地保全を行う。
- 流域における浸水被害を軽減するため、令和4年度には落合川の浚渫を行った。

落合川浚渫



## ○牟岐町おける取り組み

○ 牟岐町では、大雨や台風襲来時等において、町職員により町内巡回及び3ヶ所のウェブカメラにより町内河川の監視や低地等の浸水状況の警戒にあたるとともに、年間を通し職員研修として、定期的に排水機場のポンプ等の操作訓練を行い、必要に応じて排水作業を実施している。

また、南海トラフ巨大地震などの大規模自然災害に備えた行政機能の維持、早期の復旧復興を目的として、新庁舎移転地の用地購入費や建設設計監理業務委託費を予算計上しています。

新中村川排水機場外観



樋門操作訓練



移転予定の役場庁舎

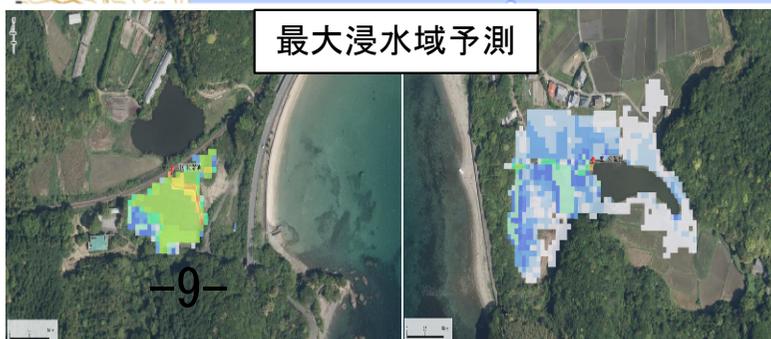


ポンプ操作訓練



## 美波町における取り組み

- ①美波町では、防災訓練として地震・大津波避難訓練等を実施しています。
- ②防災・減災に特化したスマートフォンアプリ「美波防災ナビ」の運用を令和2年度から開始しています。
- ③水害リスクの軽減を図るため、河道掘削や樹木伐採、排水路の老朽化対策を推進しています。
- ④農地では、農業用排水路の排水機能の保全や大雨等でため池が決壊した場合の備えとして、ため池浸水予測図を作成し、浸水区域の検討をしています。
- ⑤今後は、広域での洪水ハザードマップの作成を進め流域治水対策に取り組んでいきます。



海陽町における取り組み

- 海陽町では、河道掘削、農地保全(草刈・用水清掃)、排水機場保守点検、雨量観測システム公開、地元住民参加による重要水防箇所共同点検、体験型講座、防災訓練、勉強会等を実施
- 今後、各事業等を継続することにより「流域治水」へ繋げて行く



掘削前



掘削後

準用河川 大里川

河道掘削



農地保全



共同点検



体験型講座



防災訓練



排水機場保守点検



勉強会